



3. 次の文のうち、間違っているものを選び、番号を記入しなさい。

- (1) 1. サテン組織の前箆は、1 C - 0 - 1 B. 3 B - 4 D - 3 Cの柄駒である。  
 2. 2 - 1 / 0 - 1は、開き目のデンビ組織である。  
 3. シングルコード編とは、二本はなれたニードルに交互に糸を掛けながら構成される。  
 4. 逆ハーフ生地は、ハーフトリコット編地を変化させた編地で、前箆2 - 3 / 1 - 0、  
 後箆1 - 0 / 1 - 2で表示され、堅牢な編地を得られ、ワイシャツ地などに用いられる。  
 5. インレイとは、挿入組織のことである。
- (2) 1. マスタービームは、整経ビームセットの一個目に巻かれる。  
 2. 整経機のフロントローラーは、テンションをコントロールしている。  
 3. 1セットのビーム中で、巻かれた糸の直径に差があるときは、そのビームで編立て  
 られた生地は差のある部分が縞になる。  
 4. 整経ビームの糸の並列密度は、糸の太さとは関係があるが、編機のゲージには関係がな  
 い。  
 5. ビームマークは、ビーム円周が同じでも発生する。
- (3) 1. たて編地の目付けは、密度が増すに従い、またアンダーラップが大きいほど、大と  
 なる。  
 2. 1日あたりの生産反数は、編機回転数(分) × 稼働時間(分) ÷ 効率を1反あたりラック数  
 で割ることで得られる。  
 3. 1反当たりの整経長(m)は、1反当たりのラック数とランナーを乗じたものである。  
 4. 編地のウエール密度は、編機のゲージによって制限されるが、コース密度は調節が容易  
 である。  
 5. ある生地の仕上げ長が50 m、仕上げ度目が45 コース/吋で、機上度目が50 コース/  
 吋であった。この生地の生機長は45 mである。

4. 次の問いに答えなさい。

- (1) 下記の繊維を比重の重い順に並べなさい。  
 1. レーヨン 2. ナイロン 3. ポリプロピレン 4. ポリエステル 5. ビニロン

(2) 下記のように糸通し、ラッピング運動で編成した場合、穴の大きさは何コースのメッシ  
 ュ地となるか。

$$\left( \begin{array}{l} \text{糸通し} \\ \text{チェーンリンク} \end{array} \begin{array}{l} \text{GB 1 : 1 吋 1 アウト} \\ \text{GB 2 : 1 アウト 1 吋} \end{array} \begin{array}{l} \text{GB 1 : (1-0/1-2) } \times 3, (2-3/2-1) \times 3 \\ \text{GB 2 : (2-3/2-1) } \times 3, (1-0/1-2) \times 3 \end{array} \right)$$

- (3) ラック数の計算式を答えよ。
- (4) 操業日数27日、24時間稼働、効率75%、回転数1700回、350ラック/反の月  
 産反数はいくらか。計算式と答えを記入しなさい。なお、答えは少数第一位を切り捨て  
 し、整数で答えなさい。